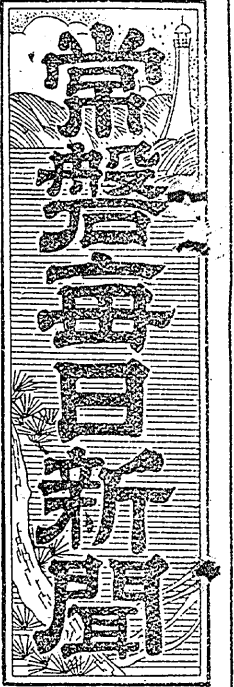


刊夕日七月二十



定額... 発行所... 印刷所...

陣中想出話 (八)

平町出身 歩兵第九聯隊 水野重光 第三中隊

九月十四日は最も面倒な 大行李掩護部隊になつた、 行程七里餘、半里を行かぬ...

の装に浮んで居る。村民が 加勢で漸く渡つて前進し始...

お月様が光り出た、今迄明 日は明日などは考へる暇...

ノット

結婚祝ひ には、切 る、去る、離れる、行ぬ...

笑話

父「ジム!! お前 は二年も學校へ 行つてゐるくせ...

市原醫院

平町 田町 電話一四四番

外科 X光線科 性病科 外科 科 科 意隨月入

安齊外科醫院 電話四七五番

うなぎの御用命は うなぎ 奴 平町田町(電話二二番)

体温の検査日です お宅の体温計は? 西村屋藥局

近日賣出す發賣品は 満腹... せ魚海産堂

吸入用酸素素純度 99% 關内藥局 電話四〇番

嚴冬の征服者 福祿ストーブ 阿部石炭商店

良い寫眞! 最新式設備 寫眞館 サクラ

歳末年始用貨物の本かくの動き

既に前年よりも黒字を示す

待機中の平驛

幾暮年始用としての貨物の動きは愈々これから本格的になるのだ、其處で平驛の貨物係でも今年歳末の

輸出入

ラッシュユアツに貨物の襲撃に備へて何れも緊張「ツア来い」とばかり待機中であるが十一月末から本日にかけての歳末貨物と見るべきは昨年卅四噸であつたに對し百十三噸で七十噸の増を示し密柑も産地不出來に拘らず

到着の

数字が前年より黒字を示して居る處から見て暮れ迫る頃近年稀れな繁忙を來すであらうと豫想され居る

平商學年主任

平商業學校にては昨日午後一時より學年主任會を開き來る十日より五日間行れる定期學力考査試験の聯絡を協議した

三校長會議

豫算其他協議

平第一、第二、第三各小學校長打合せ會は明日午前十時より第二小學校に於て開くが打合せ事項は左の如くである

- 一、來年度豫算編成の件
- 一、學年末事務整理の件
- 一、慰勞金配當の件

學力調査協議

平第二小學校にては本日午後一時より職員會を開き學力調査方案に就いて協議した

同窓會の質問に校長の回答

横井教諭は轉任か?

幹部が凝議

警中の生徒亂打事件は同窓會幹部の躍起を促すに至り同會側より一昨日橋本校長に對し提出した

質問書に 關し校長の回答は本日迄保留中であつたが本日午後一時同窓會の關内會長、諸橋副會長外六名が同校に於て橋本校長と會見の結果、その回答として

- 一、亂打事件の張本人横井教諭は近く相當の方法を講ず(言外に轉任の意をこむ)
- 二、校内に藝妓を連れ込んで風規をみだした五教諭に對しては相當に處置す、三、高等學校入學の低下如何は目下統制作製中である

金額は

約半減か

平町の低資申込約百萬圓に及ぶ

既報平町は於ける中小商工業者の低利資金の借入申込は目下農工銀行平支店での信用財産等を調査中であるが平町よりの申込者は個人申込が九件金額二萬二千百圓、團體申込が十二組金額八十七萬八千圓、總計九十萬二千圓の巨額に達し総人員約六百餘名に及ぶ

小名青年修養

石城郡小名濱青年團では十二日午後六時より同町小學校に修養講演會を催すと

來年入學する

兒童の住所は

今の内届出を

平町に於ける昭和八年度の就學兒童は目下役場で調査中であるが從來の例に依ると、往々にして本籍地と現住所、寄留地と現住所を異にするものがあり學齡簿の處理上尠くないから轉籍轉寄留の届出手續きは必らず本月末日迄に完了し就學洩れ等のない様に注意されたいと尙疾病其他の事故の爲め就學せしめ難き兒童は遅くも明年一月廿日迄に診斷書及び印鑑を携帶役場に届出されたいといふ

當日は赤木知事外地元關係者等二百餘名を招待すると

木村外科醫院

平町五丁目橋際 電話三〇九

毎度御ひいさ

有難う御座います

江戸前都壽し始めました。

是非御試食を願います

大蒲焼 折壽司 仕出し部 田町魚 榮

電話四二四番

貸家廣告

平驛前目抜の場所

三階建一棟七十坪

家賃其他委細面談

平町五丁目吉田屋染物店方吉野へ

二間か三間位の住み心地よい文化住宅

最初からお金が入らずに好きな場所へ好きな家が、十圓位の家賃を拂つて住んで居る中に五六年で自分の家となる方法

俸給生活者絶好の機會

月賦建築 (第一回申込受)

御希望者は至急御相談にお出下さい

平町南町十一番地廿三夜尊側 寶蔭社 伊東

開設

祝賀會

平町蠶業取締所の開設祝賀會は延期中の處昨日午後一時より關係者が平町役場で協議の結果來る廿二日午前

院醫坂井

科人婦。科外 町田町平 番九五五話電

平町人事

- △北白銀町一四五永井七郎 氏二男七造
- △仲間町七五佐藤幸太郎氏 二女愛
- △五丁目四片寄小彌太五八
- △北目町一四五永井七造一ツ

求人益々盛ん

反對に求職側は減小

景氣愈よ好轉

インフレ景氣の襲來と共に石城各炭礦の事業好轉の結果平職業紹介所に對する大口の求人申込み殺到しつつあるは既記の如くにて昨日も赤井村福島炭礦より坑夫五十名の外市内の大小工場商店等よりも求人申込み益々旺盛であるに拘らず各所に行はれる匡救事業で相當に失業者が消化されて居る

からと申出たので石城郡川前村宇山田日高庄藏(○)を係員が怪んで取調べると精神病者と判明したが四日に

一夜大盡の夢！

藝妓二名を連れて

自動車を旅館の前に横付け

細付さ姿で逆戻り

平町田町小野新旅館に昨夜商人風の男が藝妓二名を連れ込み投宿したのを密行中の平署員が怪しみ本署に引致取調中の處小野新町署の急報に依つて右は白河町字下ノ町七生れ當時須賀川町秋山四一居住大鼓製造業松島六郎(○)と稱し数日前郡山市に於いて

五百餘圓の詐欺横領を働いて逃走昨六日小野新町の藝妓吉彌(○)同若城支店抱藝妓桃子(○)の兩名を連れ出し貸切自動車にて前記小野新旅館前に乗付けたもので昨夜十時 小野新町署員が出張身柄を引受けて行つた

しんで居たので是れを見た浅次郎は烈火の如く憤り傍らにあつたスコップを持つ

果樹經營講習 石城郡上小川村果樹組合では来る十日午前九時より同村小学校に於いて果樹經營に就いての講習會を開くと

匡救土木工事で

トンダ飛ばッ散り

山間部の通行止め

木炭出荷が出来ぬ

平裁判たより

平第一遠足會 平第一小学校にては来る十六日左の如く月次遠足運動會を催すと一年平物見ヶ岡、二年谷川瀬山、三年龍門寺、四年平窪横山臺、五年内郷白水阿彌陀堂、六年湯本温泉神社、高一好間小玉川發電所、高二四倉セメント會社

石城郡内郷村大字御厩宇上宿居住日雇業荒川淺次郎(○)の妻ヨシ(○)は夫の局僚たる 同村字下野居住東海林五郎(○)と先月頃より妙な噂が立つたので

濱三郡木炭組合員間ではそろ／＼年末も迫つて來たので木炭の大量移出を圖り始めたが大車な移出期に際して各山間部にては盛んに匡救事業の道路改修工事が真最中で各所に通行止めの標札が立てられ木炭の山出しは平常の半數にも達せず移出どころか小賣の需要にも應じ切れぬ有様に悲鳴を擧げて居ると

△秋田縣平住郡陸合村大字谷地新田字治田八十番地生れ目下住所不定佐藤惣吉(○)が現金八十二圓在中の手提金庫を窃取逃走の際阿部巡查の鼻ッ端を金槌で殴打重傷を負はせた常習窃盗

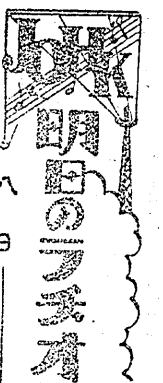
首相を擔ぎ廻る

植田警察署に去る五日午前十時頃一名の男が齊藤首相を招いて政談演説會を催す

浅次郎は昨日仕事探しに三日留守をすると稱して他出し忍かにヨシの行動を監視して 居ると夫れとも知らぬヨシは夜九時頃東海林方に出掛け逢瀬を樂

△秋田縣平住郡陸合村大字谷地新田字治田八十番地生れ目下住所不定佐藤惣吉(○)が現金八十二圓在中の手提金庫を窃取逃走の際阿部巡查の鼻ッ端を金槌で殴打重傷を負はせた常習窃盗

△秋田縣平住郡陸合村大字谷地新田字治田八十番地生れ目下住所不定佐藤惣吉(○)が現金八十二圓在中の手提金庫を窃取逃走の際阿部巡查の鼻ッ端を金槌で殴打重傷を負はせた常習窃盗



明日のラジオ
今晩も明日も北
西の風小雨模様

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
子供のオーケストラ
南児童管絃樂團
後七、三〇 國際時局特別
講座 其ノ二 法學博士
末廣重雄
後八、〇〇 ラヂオドラマ
を調査中であると

「新夫婦」伏見直江外
後八、四〇 宮節「道行
緑花房」浄るり宮節千風
三味線宮節千幸
後九、〇〇 忠臣藏花曆第
七琵琶
後九、三〇 時報 全國ニ
ユース 氣象通報 番組
豫告

明日の部
前九、一〇 料理献立 宮
城縣食肉協會
前一〇、三〇 家庭講座
「益裁の買方選方」平松課
三
後一〇、〇五 掛合噺「三段
返し」月進家孝之輔外お
はやし連中
後二、〇〇 婦人講座「デ
パート」を通して見た各國
の國民性」山本秀太郎
後五、〇〇 受驗講座「漢
文」塚本哲三

後六、〇〇 子供の時間
童話劇「達谷窟」JK子供
會
後七、三〇 國際時局特別
講座(其四)一日支問題に
對する各國の輿論」國際
聯盟協會主席赤松祐之
後八、〇〇 放送映畫劇
「隱密七生記」活時代劇
部
後八、四〇 俚謠「博多節」
お秀外
後九、〇〇 忠臣藏花曆第
九「和洋合奏」富士絃管樂
團

て室内に飛込み矢庭に五郎の頭部を強打して重傷を負した騒ぎに
駐在所員 が取押へ直に本署に押送目下嚴重取調中
△石城郡内郷村大字宮宇御殿十四番地雜夫赤塚利之助(○)及び同所四番地坑夫齊藤順平(○)の兩名は本年八月中磐炭高坂坑入口扇風機小屋に忍び入り前後十數回に亘り裸銅線其他價格三百十三圓餘を窃取、同村大字御臺境字立町三十八番地無職穴澤新三郎(○)に情を打明け賣渡したる窃盜及び贓物故買事件の公判は本日午前九時より平區裁判所に於て中島判事係り上田檢事立會の下に開廷され事實問の上拘留された

卒 日給一圓二十錢(双葉郡某)
△印刷見習 十六才 尋卒 初給二十錢(平町某)
回 職を求める方
△土工夫 二十二才 尋卒 給料面談(平町某)
△雜夫 五十五才 尋三修 給料面談(平町某)
△賣子 五十五才 讀書し得 給料面談(鴻縣某)
△雜夫 十八才 高卒 給料面談(平町某)

般一物質 類券債種各 店質井三 岸川目丁四町平 岸六〇六話電

豪傑剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百十八席 平手造酒

助五郎引き揚ぐ

飯岡の爲に亂れ立つた
來た松岸の半次の爲に勇氣
を恢復して又復飯岡方を望
んで切り込んだ、平手造酒
は血にそまりし兩刀を揮ひ
近付く者を斬つて捨て、助
五郎を目ざして進み寄る、
親分の大事と見て霧島の清
次が平手に渡り合つたが忽
ちそれに斬り倒された、そ
れを見るより下緒の伊之助
と黒濱の松五郎が左右より
造酒に斬つてかゝる、それ
を事ともせずサア參れと平
手は二人と渡り合つたが伊
之助は小鬚を切られ、松五
郎は右の眼を三本切り落さ
れてアツと云つて後へ下る
造酒はこの隙に助五郎の傍
に進み寄り



と云ひながら切り付けた
助五郎は元來武士である、
それに父の敵まで討つたも
の、神陰流の劍術は人の師
となる程の素養はある。さ
すれば造酒を相手に戦へば
とて脆く討たれるやうな者
ではない、こゝで渡り合つ
たが子分はこれを見、とッ
親分を救へと四方より造

る内には身内は益々不利に
陥る、人数は飯川より多い
が死人、又は怪我人が大分
ある、今の内に此處を引上
げようと半次にこの事を云
つた

と聲を喚びて云ふ、ドウ
と聲を喚びて云ふ、ドウ

一同は河岸迄引揚げた
その時勢、富五郎は九太を
揮つて飯岡方の引揚げを
追ひ三四人を打倒し、
た、折しも清瀧の佐吉が薬
に火をつけて飯岡の同勢の
乗つて來た舟へ投げ込んだ
東になつた薬に火がついた
ま、バラ／＼と舟に落ちる
これは危険です、水を注ぎ
かけてこれを消す、舷に立
つた助五郎が

命を預けて歸してやれ騒ぐ
な、と止められて一同繁藏の
住居に引上げて怪我人を調
べると七人傷を負ひ三人死
んでゐる、又飯岡の残して
行つた死者は十三人あつた
この内に洲の崎の政吉も居
る、そこでこの死骸は利根
川の流れて血を洗い落し白
木綿で巻いて棺に納め夜明
けを待つて、これを舟に積
み、繁藏の子分三人付添ひ
松岸の半次の許まで送り届
けた、まことに行届いた事
その時に繁藏の子分が

るに相違ございませぬ
繁藏を殺しては二年この土
地を別れる事にしよう、俺
は京阪へ行く、平手先生は
何處へお出でなされる
造「拙者は關東の親分衆の
許を廻る」
繁「勢力は何處へ行く」
富「仙臺の常吉親分の所へ
行くつもりでございます」
繁「さうか、佐吉は何處へ
行く」
佐「江戸の神田の紺屋町に
伯父がおりますからそこへ
行つて當分遊びませう」
そこで有金を分配して一
時この地を去ることにした

と云つた、半次はこれを
聞いて
半「承知しました」
棺桶十三、但し中身共正
に受取り申し候とした書き
付を出した、これは滑稽な
證書です、借重藏は死せし
者の葬式を營み、その後一
同を集めて
繁「知つての通助五郎は銚
子の御用を聞いてゐる、そ
れ故役人衆を抱込んで此所
へ捕り方を向けるであらう
喧嘩をしたものだ、其罪に
依つて處刑を受けるは豫て
の覺悟誰を恨む所もないが
助五郎は無事であつて、此方
許りが罪を被て遠い島へ送
られるはまことに残念、こ
ゝで一時この地を立退く事
にしよう、お前方は何う思
ふ」
○「これは御尤、助五郎は
卑怯者だ、江戸の敵を長崎
で討つやうな厭なことをす

毒梅

淋病
皮膚病
婦人病

森病

十二指
腸虫病

松村 院醫科

○七一話電

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌
自由に讀める
川崎 回文庫
電六三〇番
申込次第規則書進呈

りん病 永らく悩む人の福音
こしけ 天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥

岩別府温泉

全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知らな
雑誌 推奨 い方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、濁濁の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各葉であります。
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。

藥價
急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
平町古鍛冶町一〇
特約 一
手販賣 **阿康藥舖**
縣社ノ下(電話四四番)

貸切の●●●
御用命は!
獅子吼(四四九)ノ勢デ
マツサキ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

江戸前料理
食巻
寄なべ はまなべ 鳥なべ
ちりなべ かきなべ
▼出前! 迅速! ▲
錦水
電話四五四番